



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月6日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス

コード番号 4732 URL https://www.ussnet.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 安藤 之弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	19,861	△0.6	9,184	△4.1	9,331	△4.0	6,258	△2.8
2019年3月期第1四半期	19,987	13.3	9,573	10.8	9,716	10.7	6,438	7.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 6,307百万円 (△2.3%) 2019年3月期第1四半期 6,455百万円 (7.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	24.84	24.79
2019年3月期第1四半期	25.33	25.28

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	220,723	178,277	79.9
2019年3月期	232,703	183,535	78.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 176,445百万円 2019年3月期 181,698百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	24.60	-	25.80	50.40
2020年3月期	-	-	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	25.60	-	25.60	51.20

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,500	1.7	18,600	2.6	18,840	2.3	12,560	1.8	49.96
通期	80,800	1.1	38,200	2.9	38,700	1.7	25,800	1.0	102.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	313,250,000株	2019年3月期	313,250,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	62,559,679株	2019年3月期	60,174,839株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	251,889,041株	2019年3月期1Q	254,117,731株

(注) 2020年3月期1Qの期末自己株式数には84,100株、2019年3月期の期末自己株式数には115,100株、USS従業員持株会専用信託が所有する株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2019年8月6日(火)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内自動車流通市場の新車登録台数(含軽)は1,225千台(前年同期比2.8%増)、中古車登録台数(含軽)は1,672千台(前年同期比0.0%減)となりました。(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ)

中古車輸出市場は、主な仕向地のうちアラブ首長国連邦、ロシア向けの輸出台数が増加したものの、パキスタン、アフリカ諸国、スリランカ向けなどが減少し、輸出台数は335千台(前年同期比8.5%減)となりました。(財務省貿易統計調べ)

オートオークション市場における出品台数は1,982千台(前年同期比2.3%増)、成約台数は1,238千台(前年同期比0.5%増)、成約率は62.5%(前年同期実績63.6%)となりました。(株)ユーストカー調べ)

このような経営環境の中、USSグループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高19,861百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益9,184百万円(前年同期比4.1%減)、経常利益9,331百万円(前年同期比4.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益6,258百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

オートオークション

オートオークションの出品台数は771千台(前年同期比2.6%増)、成約台数は460千台(前年同期比1.0%減)、成約率は59.7%(前年同期実績61.8%)となりました。

営業費用については、低額車の買取台数の増加に伴い買取金額が増加したほか、JAA会場の新築建替えや、大阪会場のシステムリプレースなどによる費用が増加しました。

この結果、オートオークションのセグメントは、外部顧客に対する売上高16,358百万円(前年同期比0.0%増)、営業利益8,986百万円(前年同期比3.4%減)となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、店舗当たりの買取台数が増加したものの、高額車両の買取台数が減少したことにより販売価格が低下したことや、広告宣伝費が増加したことなどから減収減益となりました。

事故現状車買取販売事業は、買取台数の減少により営業損失となりました。

この結果、中古自動車等買取販売のセグメントは、外部顧客に対する売上高2,067百万円(前年同期比8.3%減)、営業利益18百万円(前年同期比62.3%減)となりました。

その他

廃自動車等のリサイクル事業は、廃自動車の処理量が増加したものの、4月から鉄スクラップ相場が下落基調に転じたことなどから、増収減益となりました。

中古自動車の輸出手続代行サービス事業は、受注台数が減少したことから減収減益となりました。

この結果、その他のセグメントは、外部顧客に対する売上高1,434百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益154百万円(前年同期比20.8%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は220,723百万円となり、前連結会計年度末と比較して11,979百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が8,300百万円、オークション貸勘定が3,146百万円減少したことによるものです。

負債合計は42,445百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,722百万円減少しました。これは主に、未払法人税等が4,128百万円、オークション借勘定が2,941百万円減少したことによるものです。

純資産合計は178,277百万円となり、前連結会計年度末と比較して5,257百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益6,258百万円に対し、配当金を6,532百万円支払ったことにより利益剰余金が274百万円減少したことや、自己株式の取得により4,963百万円減少したことによるものです。

<キャッシュ・フローの状況>

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して8,300百万円減少し、37,151百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,952百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益9,325百万円（前年同期比2.9%減）、法人税等の支払額7,770百万円（前年同期比11.5%増）、減価償却費及びその他の償却費1,225百万円（前年同期比4.7%減）、預り金の増加額757百万円（前年同期実績 減少額349百万円）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は1,899百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,511百万円（前年同期比320.7%増）、関係会社株式の取得による支出272百万円（前年同期実績 一百万円）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は10,353百万円となりました。これは主に、配当金の支払額6,532百万円（前年同期比5.7%増）、自己株式の取得による支出5,024百万円（前年同期実績 一百万円）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（2019年5月13日発表）の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,352	43,051
オークション貸勘定	16,502	13,355
受取手形及び売掛金	3,154	2,952
たな卸資産	1,038	881
その他	5,428	5,736
貸倒引当金	△44	△41
流動資産合計	77,431	65,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,972	35,851
土地	65,027	65,027
建設仮勘定	1,610	188
その他(純額)	3,277	3,627
有形固定資産合計	104,887	104,695
無形固定資産		
のれん	35,297	34,801
その他	7,061	7,011
無形固定資産合計	42,358	41,812
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,560	8,817
貸倒引当金	△535	△539
投資その他の資産合計	8,025	8,278
固定資産合計	155,271	154,786
資産合計	232,703	220,723

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
オークション借勘定	22,209	19,268
支払手形及び買掛金	520	377
短期借入金	—	300
1年内返済予定の長期借入金	397	397
未払法人税等	6,783	2,655
引当金	722	1,068
その他	7,444	7,379
流動負債合計	38,077	31,446
固定負債		
長期借入金	2,640	2,585
退職給付に係る負債	771	808
資産除去債務	600	602
その他	7,078	7,002
固定負債合計	11,090	10,998
負債合計	49,168	42,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,913	18,913
利益剰余金	198,940	198,666
自己株式	△49,448	△54,412
株主資本合計	187,287	182,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60	45
土地再評価差額金	△5,633	△5,633
退職給付に係る調整累計額	△15	△15
その他の包括利益累計額合計	△5,588	△5,603
新株予約権	423	423
非支配株主持分	1,412	1,408
純資産合計	183,535	178,277
負債純資産合計	232,703	220,723

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	19,987	19,861
売上原価	7,627	7,929
売上総利益	12,359	11,931
販売費及び一般管理費	2,786	2,747
営業利益	9,573	9,184
営業外収益		
受取利息	2	1
不動産賃貸料	108	141
雑収入	52	40
営業外収益合計	162	183
営業外費用		
支払利息	2	3
不動産賃貸原価	11	26
雑損失	5	6
営業外費用合計	19	36
経常利益	9,716	9,331
特別利益		
固定資産売却益	30	1
特別利益合計	30	1
特別損失		
固定資産売却損	131	0
固定資産除却損	0	7
その他	8	-
特別損失合計	140	7
税金等調整前四半期純利益	9,606	9,325
法人税等	3,097	3,003
四半期純利益	6,509	6,322
非支配株主に帰属する四半期純利益	71	63
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,438	6,258



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	6,509	6,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	△15
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△54	△14
四半期包括利益	6,455	6,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,383	6,243
非支配株主に係る四半期包括利益	71	63

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,606	9,325
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	1,286	1,225
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	495	495
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	325	346
受取利息及び受取配当金	22	37
支払利息	△6	△3
有形固定資産除売却損益 (△は益)	2	3
オークション勘定の増減額	101	5
売上債権の増減額 (△は増加)	7	204
仕入債務の増減額 (△は減少)	76	201
未払金の増減額 (△は減少)	△70	△142
預り金の増減額 (△は減少)	△469	△363
預り金の増減額 (△は減少)	△349	757
その他	△848	△375
小計	10,181	11,719
利息及び配当金の受取額	12	6
利息の支払額	△2	△3
法人税等の支払額	△6,968	△7,770
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,223</b>	<b>3,952</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△359	△1,511
有形固定資産の売却による収入	88	3
無形固定資産の取得による支出	△63	△111
関係会社株式の取得による支出	—	△272
その他	△26	△7
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△360</b>	<b>△1,899</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	300
長期借入金の返済による支出	△55	△55
預り保証金の預りによる収入	53	43
預り保証金の返還による支出	△38	△73
自己株式の取得による支出	—	△5,024
自己株式の売却による収入	46	47
自己株式取得のための金銭の信託の増減額 (△は増加)	—	1,023
配当金の支払額	△6,180	△6,532
非支配株主への配当金の支払額	△40	△68
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3	△15
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△6,219</b>	<b>△10,353</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,356	△8,300
現金及び現金同等物の期首残高	33,722	45,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,366	37,151

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結会計期間末における自己株式の残高は、前連結会計年度末より4,963百万円増加し、54,412百万円となっております。これは主に2019年2月12日開催の取締役会決議に基づき、2019年4月1日から2019年6月30日までに自己株式2,415,800株を取得したためです。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,356	2,254	18,610	1,377	19,987	—	19,987
セグメント間の内部売上高または振替高	125	0	125	8	133	△133	—
計	16,482	2,254	18,736	1,385	20,121	△133	19,987
セグメント利益	9,305	48	9,354	194	9,549	24	9,573

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額24百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,358	2,067	18,426	1,434	19,861	—	19,861
セグメント間の内部売上高または振替高	113	0	113	11	124	△124	—
計	16,472	2,067	18,539	1,445	19,985	△124	19,861
セグメント利益	8,986	18	9,004	154	9,158	25	9,184

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額25百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## (1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	2019年3月期	2020年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	199	198	△0.6	808
営業利益	95	91	△4.1	382
経常利益	97	93	△4.0	387
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益	64	62	△2.8	258

## (2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	2019年3月期	2020年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	39	38	△1.4	155
成約手数料	37	36	△2.7	151
落札手数料	55	55	△0.3	229
バイクオークション手数料	2	2	2.4	7
商品売上高	6	8	32.7	24
その他の営業収入	22	22	△1.1	88
オートオークション計	163	163	0.0	658
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	13	12	△4.1	52
事故現状車買取販売	9	7	△14.3	41
中古自動車等買取販売計	22	20	△8.3	94
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	12	12	7.4	49
中古自動車の輸出手続	1	1	△19.7	4
代行サービス	0	0	△7.6	0
その他	0	0	△7.6	0
その他計	13	14	4.2	54
合計	199	198	△0.6	808

(注) バイクオークション手数料は、株式会社ジャパンバイクオークションが運営するバイクオークションの手数料であります。

## (3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	2019年3月期	2020年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	4	16	283.7	74
完工ベース	1	24	1,927.9	65
減価償却費	12	12	△4.7	51